

RAVEL BOLERO

RACHMANINOV PIANO CONCERTO No.2

RIMSKY-KORSAKOV SCHEHERAZADE

KG¹³
Kitakyushu
Grand Philharmony
Orchestra

北九州グランフィルハーモニー管弦楽団

第3回定期演奏会

M.ラヴェル **ボレロ**

S.ラフマニノフ **ピアノ協奏曲第2番** 短調 作品18

N.リムスキー=コルサコフ

交響組曲「シェヘラザード」

2022 **7/10** 日 開場 14:20
開演 15:00

北九州芸術劇場大ホール

北九州市小倉北区室町1丁目1-1リバーウォーク6F

※未就学児入場不可
※当日券500円増

■指定席 5,500円 ■自由席 一般 4,000円 学生 2,000円 (高校以下)

●チケットぴあ [指定席、自由席]

Pコード **215-410** (チケットぴあWebサイト、
セブンイレブンマルチコピー機にてご購入いただけます)

●チケット取扱窓口 [指定席、自由席]

北九州芸術劇場 093-562-2655 ウェルとばた 093-871-7200 ソレイユホール 093-592-5405
響ホール 093-662-4010 ひびしんホール 093-621-4566 井筒屋 093-522-2682 松田楽器店 093-541-1886

●チケット販売・お問い合わせ TEL **090-8401-0220** / 北九州グランフィルハーモニー管弦楽団 蒲ヶ原

チケット発売開始 4/11(月)

主催 ■ 特定非営利活動法人 北九州グランフィルハーモニー管弦楽団

TEL **093-981-0085** / 北九州グランフィルハーモニー管弦楽団 事務局

後援 ■ 北九州市、北九州市教育委員会、(公財)北九州市芸術文化振興財団、九州山口音楽協会、北九州グランフィルハーモニー管弦楽団後援会

協力 ■ (株)コンサート技研



松尾 葉子 指揮



Yoko MATSUO

1982年フランスのブザンソン国際指揮者コンクールで女性として史上初、また日本人としては小澤征爾についで二人目の優勝という壮挙により、一躍注目を集める。名古屋生まれ。1981年国際ロータリー財団の奨学生としてフランスに留学、パリ・エコールノルマル音楽院指揮科でピエール・デルヴォー氏に師事。1982年帰国後名古屋フィルを指揮し、名古屋デビュー。1983年『若い芽のコンサート』でNHK交響楽団を指揮。1984年レディース・オーケストラ・ジャパン、二期会公演の『メリー・ウィドウ』を指揮してオペラデビュー。1990年労働省婦人週間のポスターになる。TOYP世界大賞受賞。1999年セントラル愛知交響楽団の常任指揮者に就任。2001年ニューヨーク・カーネギーホールにてベートーヴェンの第九を指揮。2017年1月にはアムステルダム・コンセルトヘボウにて「ヴェルディ：レクイエム」を演奏し、好評を博す。平成28年度愛知県芸術文化選奨を受賞。著書「指揮者にミューズが微笑んだ」（2003年論創社）、「指揮者、この瞬間」（2008年樹立社）がある。中日新聞・東京新聞コラム執筆。2006年中日新聞「エンタ目」執筆。自身の編曲による、女声合唱のための「6つのエスプリ」出版（オフィス・リラン）。1992年より水彩画を大潮会展に出品。東京藝術大学指揮科教官を30年間務める。2015年4月より愛知県立芸術大学客員教授。海外での活躍は1982年以来、ブザンソン交響楽団、パリ・ラムルー管弦楽団、ベルギー・ブリュッセルの放送オーケストラのコンサート、録音等を手掛ける。現在、セントラル愛知交響楽団特別客演指揮者、アンサンブル・フォルテ指揮者、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ音楽監督、女声合唱団マドンナ「かきつばた」ディレクターを務める。

岡田 将 ピアノ

福岡県出身。全日本学生音楽コンクール全国大会・中学校の部優勝。第61回日本音楽コンクール優勝。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を首席卒業し、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院、ベルリン国立芸術大学で研鑽を積む。97年アルトゥール・シュナーベルコンクール優勝。99年第5回リスト国際ピアノコンクールで日本人として初めて優勝、ドイツ国内を中心にヨーロッパ主要都市やNYでリサイタルを開催、ゾルタン・コチシュ指揮ハンガリー国立管弦楽団と共演。圧倒的なスケール感と緻密な構成力が高い評価を得た。第12回出光賞受賞。第29回日本ショパン協会賞受賞。07年にベルリンより帰国し、現在、神戸女学院大学准教授。オール・リスト3回シリーズ、バッハ：バルティータ全6曲演奏会、ベートーヴェン：ピアノソナタ全32曲シリーズ(全8回)、リスト：超絶技巧練習曲全曲コンサートなど、意欲的な活動が大きな話題となっている。18年には巨匠チェリスト ルイス・クラレットとの共演でCD『ベートーヴェン：チェロ・ソナタ全集』(オクタヴィア/レコード芸術準特選盤)をリリース。http://www.concert.co.jp/artist/masaru_okada/



Masaru OKADA

福田 俊一郎 ゲストコンサートマスター



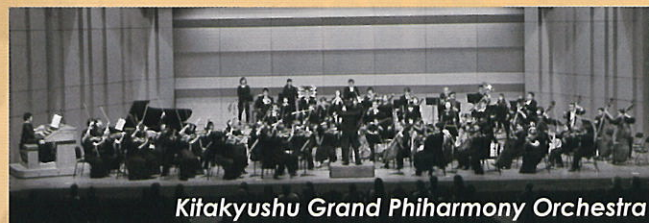
Shunichiro FUKUDA

神奈川県出身。東京音楽大学、大学院を首席で卒業。小栗まち絵、大谷康子の各氏に師事。東京音楽コンクール、日本音楽コンクール等国内の主要なコンクールに入賞。これまでに、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン、東京・春・音楽祭、いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭、読売新聞主催新人演奏会など多数出演。ソリストとして東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、小林研一郎、大友直人、飯森範親氏らと共演。室内楽にも意欲的に取り組み、小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、プロジェクトQ、ヴィオラスペースなどにおいて研鑽を積む。紀尾井ホール室内管弦楽団2017年度シーズン・メンバー。2016年度公益財団法人青山財団奨学生。2018年度「CHANEL Pygmalion Daysアーティスト」。また、ゲストコンサートマスターや客演首席として各楽団に招かれ演奏している。

北九州グランフィルハーモニー管弦楽団

2018年に設立した地元プロ演奏家による北九州市初の常設オーケストラ。レパートリー拡充と技術・アサンプルの向上に努め、グランフィルの名に相応しい、充実した演奏活動を目指す。また、北九州のコンサート・イベント等で市民に愛され親しまれる、地域に根差した団体であることを大きな目標に掲げており、今では「グランフィル」の名で親しまれている。前身の祝祭管弦楽団の頃より「湧き上がる音楽祭in北九州」には毎年出演している。

2020年末から2021年春まで、フジコ・ヘミング氏(pf)&古澤巖氏(vn)と共演を重ね、兵庫、広島、北九州、佐賀、熊本の各地で好評を博した。第2回定期演奏会では、宮田大氏とドヴォルザーク：チェロ協奏曲を共演、2022年5月には、ブッチーニ：オペラ『ラ・ボエーム』(R. ジャノラ指揮、A. C. ルチア演出、北九州シティオペラ主催)で管弦楽を務める等、主催公演、依頼公演ともに意欲的に活動している。



Kitakyushu Grand Philharmony Orchestra